

IR REPORT

第62期 中間ご報告

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

タナベコンサルティンググループ

Philosophy／経営理念

私たちは
企業を愛し
企業とともに歩み
企業繁栄に奉仕し

広く社会に貢献すべく
超一流の信用を軸とし

国際的視野に立脚して
無限の変化に挑み

常にパイオニアとして
世界への道を拓く

その決断を 愛でささえる、 世界を変える。

リーダーの決断には、企業を変え、社会や世界を変える力があります。
私たちは「企業を愛し、企業とともに歩み、企業繁栄に奉仕する」という、
創業の志を胸に、真摯に、時に厳しく、愛をもって向き合い、
チームの力を発揮して、その決断をささえます。
そして、世界中の企業を成功で満たし、
100年先の未来をともに創り出すことが、
この先も変わらない、私たちの貢献価値です。

Value／私たちの価値観

Teamwork is Power

すべてはクライアントの成功と、明るい未来のために

高い専門性と高い総合性の発揮

一人ひとりが専門性を高め、
チームワークと経営力によって、
想像を超える力を発揮する。

“個性”をつなぎ、全員の幸せを

一人ひとりの強みや魅力を、互に見つけ、のばし、
つなぐ。あらゆる人が活躍する
長所連結主義で、多様性を包み込む。

清新に、真摯に

クライアントへ、その先の社会まで、
広く貢献する想いを胸に。
何事にも、いきいきと、さわやかに、本気で向き合う。

プロフェッショナルへ

自らの能力を、クライアントや社会、
仲間のために役立てる。有言実行で変化に挑み、
成果によって超一流の信用を築く。

クリエイティブなリーダーシップを

未見を探求する好奇心と、
新たな道を切り拓くリーダーシップで、
今までにない新しい価値をつくる。

未来をつくる、こころざしを一つに

誰もがワクワクできる、明るい未来へ。
過去へ感謝し、仲間を信じ、
今を変える情熱でビジョンを描く。



TOP MESSAGE

代表取締役社長

若松 孝彦

Takahiko Wakamatsu

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、中期経営計画の折り返し地点となる3年目であり、売上高125億円、営業利益12億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益7億60百万円という当社グループとしての過去最高売上高・過去最高益の達成を目指しております。その中で、当上半期(2023年4月1日~2023年9月30日)の経営成績は、売上高60億円(前年同期比+11.4%)、営業利益5億83百万円(前年同期比▲3.0%)、経常利益5億85百万円(前年同期比▲3.5%)、親会社株

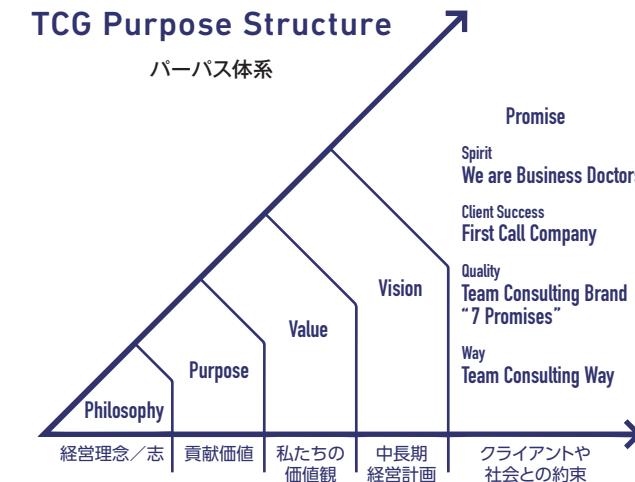
主に帰属する四半期純利益3億49百万円(前年同期比▲9.5%)となりました。売上高については上半期における過去最高数値を更新いたしました。利益については積極的な人的資本経営を推進する先行投資(人材採用&育成・健康経営等)、デジタルおよびブランディング投資を実施した結果、前年同期比で減益となりました。配当については、今回の中間配当は18円、期末配当で26円の年間で44円を予定しております。また、当上半期は約4億円の機動的な自己株式の取得も実施いたしました。

今後も、持続的成長および中長期的な企業価値の向上を実現するとともに、安定的かつ積極的な株主還元を実現し、株主の皆さまのご期待に応えていく方針であります。

昨年2022年10月に私たちは創業65周年を迎えましたが、その節目に「経営理念を起点に未来に貢献できるタナベコンサルティンググループ(TCG)の価値とは何か」を見つめ直すPurpose策定プロジェクトを発足させ、約1年間をかけて全社員で熱いディスカッションを重ね、このたび「Purpose(貢献価値)&Value(私たちの価値観)」を策定いたしました。

ビジネスドクターである私たちは、経営コンサルティングを「決断を提供する仕事」と定義しており、社員一人ひとりが「企業への愛」をもって、それを実践しております。「リーダーの決断には、企業を変え、社会を変え、世界を変える力があり、その決断に、真摯に、時に厳しく、愛をもって向き合い、支援していく活動を通じて世界中の企業を成功で満たしていきたい」。これらをPurpose(貢献価値)として宣言したのが、「その決断を、愛でささえる、世界を変える。」です。

併せて、私たちの行動指針となる「Value(私たちの価値観)」も策定いたしました。「Teamwork is Power すべてはクライアントの成功と、明るい未来のために」を掲げ、6つの具体的な行動規範を設定いたしました。TCGの社員一人ひとりが、これらを起点にすべての企業の繁栄に奉仕



し、明るい未来を切り拓き、社会にも広く貢献してまいりたいと考えております。

同時に、「TCG Purpose Structure(パーパス体系)」も定義いたしました。不変の志である「Philosophy(経営理念)」を起点に、現在地から未来の社会に向けて「Purpose(貢献価値)」を宣言。それらを目指す私たちの行動指針が「Value(私たちの価値観)」。3年から10年の戦略コンセプトとロードマップを「Vision(中長期経営計画)」。そして、私たちの経営コンサルティングに対する姿勢等を「Promise(クライアントや社会との約束)」として体系立てました。この体系を基に、私たちはこれからも唯一無二のTCGブランドへ成長、躍進してまいりたいと存じます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

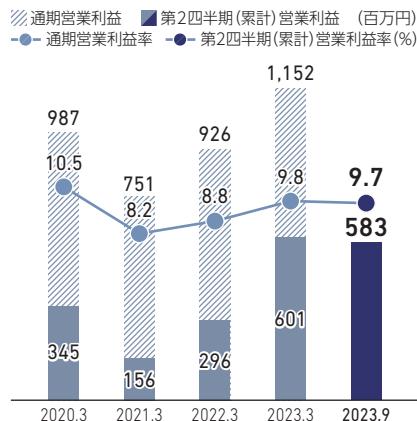
業績トピックス

(注) 本中間ご報告に記載の金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

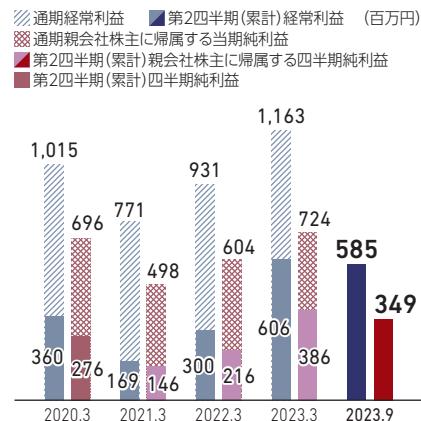
売上高



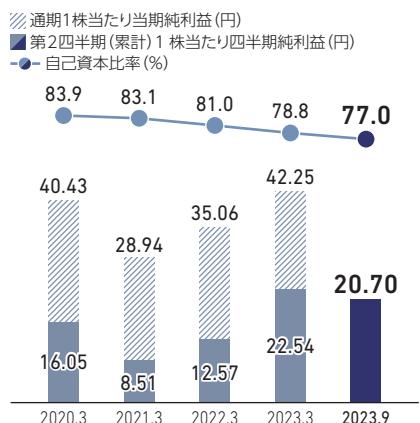
営業利益 / 営業利益率



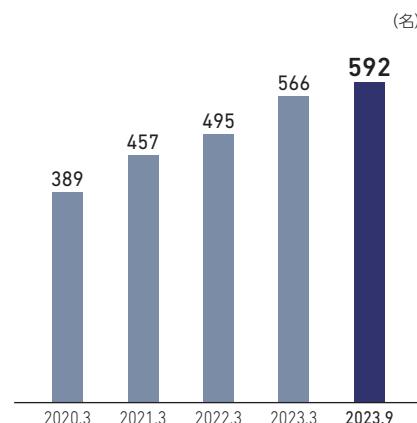
経常利益 / 四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益 / 自己資本比率



社員数の推移 (臨時雇用者等は除く)



決算情報の詳細

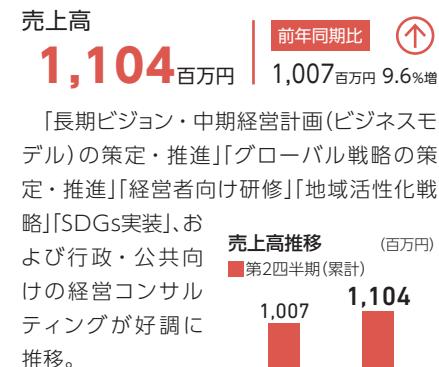
タナベコンサルティンググループのホームページでご紹介しています
<https://www.tanabeconsulting-group.com/ir/>



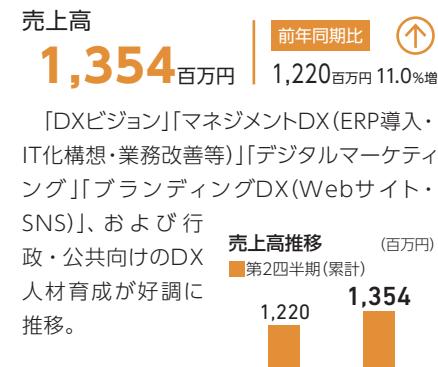
(注) 2021年10月1日付にて1:2の割合で株式分割を行いました。「1株当たり四半期(当期)純利益」は株式分割を過年度に遡及して調整しております。

経営コンサルティング領域別の業績

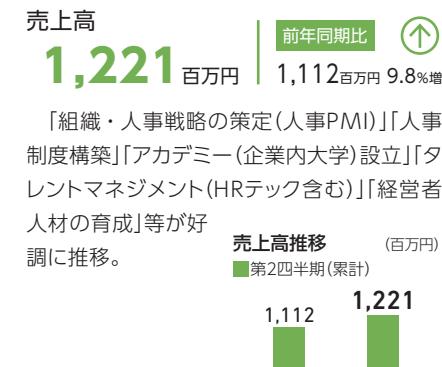
ストラテジー&ドメイン



デジタル・DX



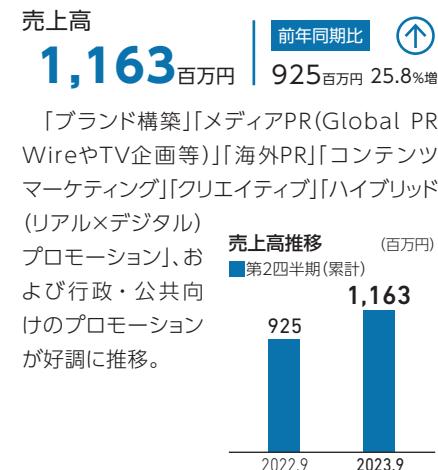
HR



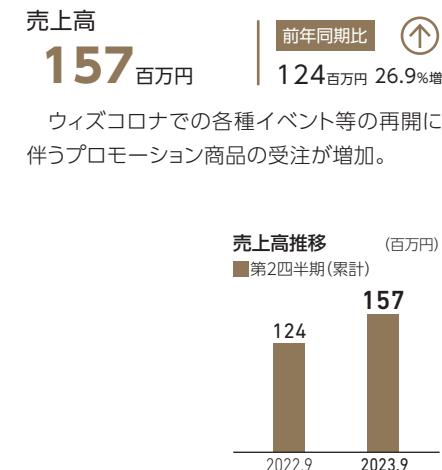
ファイナンス・M&A



ブランド&PR



その他(プロモーション商品等)

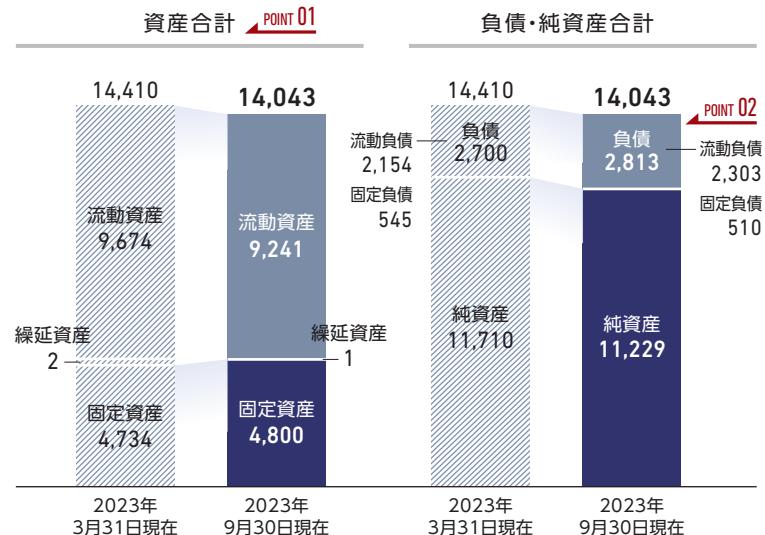


(注1) 株式会社カーツメディアワークスの連結子会社化に伴い、事業領域をPRまで拡大したことから、第1四半期連結会計期間より「ブランディング&マーケティング」を「ブランド&PR」の表記に変更しております。
 (注2) 第1四半期連結会計期間の組織変更により、株式会社タナベコンサルティングにおける全国の事業所(中部本部、九州本部、北海道支社、東北支社、新潟支社、北陸支社、中四国支社、沖縄支社)を、経営コンサルティング領域別の組織に細分化しております。これに伴い、各事業所における売上高区分を当期の組織単位に合わせて集計しております。前第2四半期連結累計期間の売上高については、各事業所における経営コンサルティング領域別のコンサルタント人数に応じて再配分し、当第2四半期連結累計期間の売上高との比較可能性を担保しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

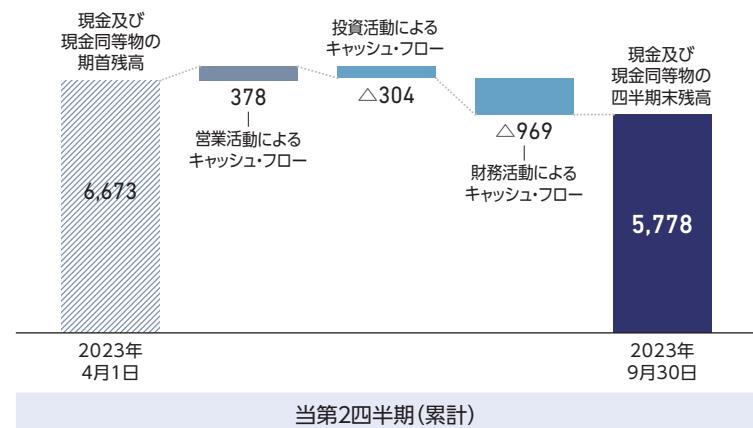
(百万円)



連結キャッシュ・フローの概要

(POINT 03)

(百万円)



POINT 01 資産

流動資産は、現金および預金が減少したことにより、4億32百万円減少し、固定資産は、有形固定資産が増加したことにより、65百万円増加いたしました。その結果、資産トータルでは、3億67百万円減少し、140億43百万円となりました。

POINT 02 負債

流動負債は、前受金や買掛金が増加したことにより、1億49百万円増加し、固定負債は、長期借入金や債務保証損失引当金が減少したことにより、35百万円減少いたしました。その結果、負債トータルでは、1億13百万円増加し、28億13百万円となりました。

POINT 03 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払による減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上等により、トータル3億78百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却および償還による収入等がありましたが、有価証券の取得による支出等により、トータル3億4百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式の取得等により、トータル9億69百万円の支出となりました。以上の結果、現金および現金同等物の四半期末残高は、57億78百万円となりました。

株主還元の実績と方向性

新たな株主還元方針である「連結総還元性向100%目安」「DOE(株主資本配当率)6%以上」「機動的な自己株式取得」のもと、2024年3月期の1株当たりの中間配当は18円となりました。年間では44円(前期比+2円)の配当を予定しており、経営における最優先課題の一つである株主の皆さまへの利益還元を積極的に実施してまいります。加えて、戦略投資や急激な環境変化に備えた強固な財務基盤を保持しつつ、安定的に利益創出していくことを経営の基本目標とするとともに、2026年3月期目標の「ROE(株主資本当期純利益率)10%」の達成を早期に実現してまいります。

株主還元方針 (2026年3月期まで)

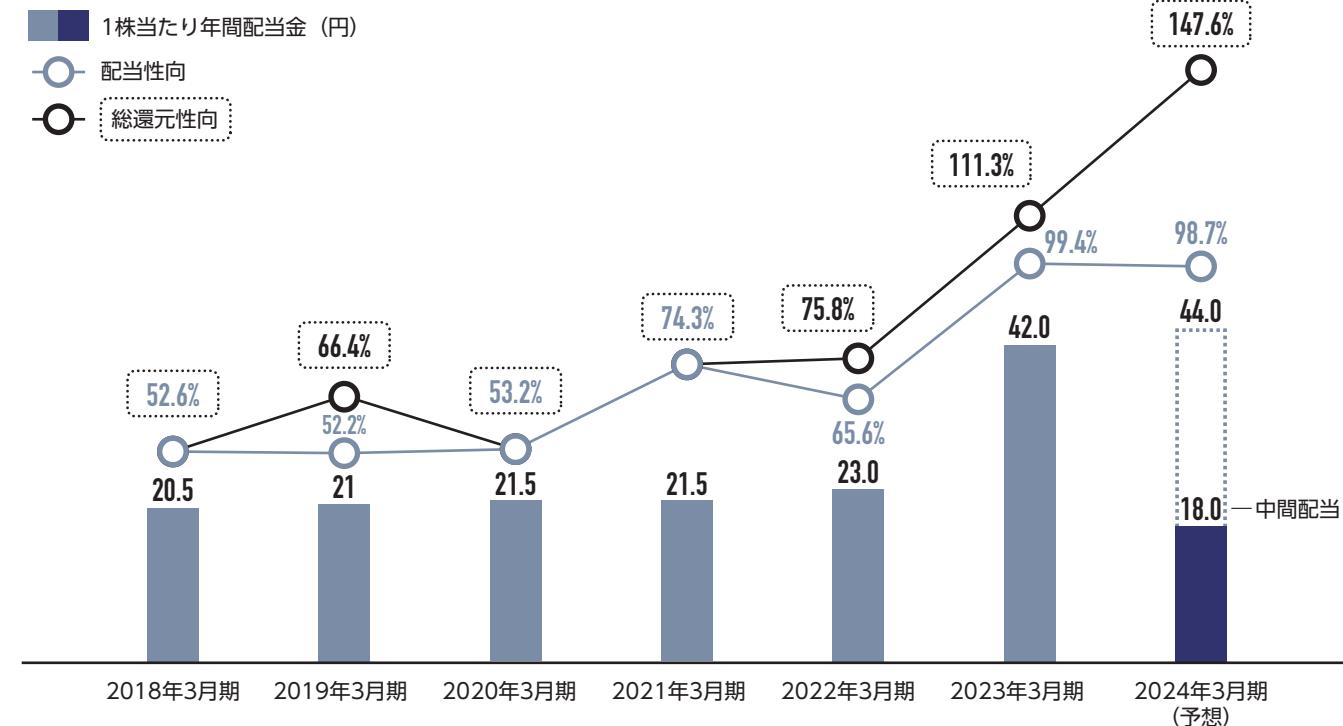
連結総還元性向

100%目安

DOE(株主資本配当率)

6%以上

機動的な
自己株式取得



(注) 2021年10月1日付にて1:2の割合で株式分割を行いました。「1株当たり年間配当金」は株式分割を過年度に遡及して調整しております。

事業説明

当社は、全国主要都市10地域にファーム(事業所)を展開し、683名のプロフェッショナルが「高度な先進医療(チームコンサルティング)」を地域密着で提供する「経営の総合病院」です。「ファーストコールカンパニー 100年先も一番に選ばれる会社」をより多く支援、創造してまいります。

We are Business Doctors!

高度の専門性と高度の総合性(チームコンサルティング)でトップの課題を解決



チームコンサルティングバリュー

HOSPITAL

戦略&ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> 中長期ビジョンの策定 経営理念・パーパスの策定 新規事業開発 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別の事業戦略 ビジネスモデル革新 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs サステナビリティ 	
デジタル・DX	<ul style="list-style-type: none"> 営業のデジタルシフト デジタルマーケティング DXビジョンの策定 IT化構想 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン 生産・物流改善 	<ul style="list-style-type: none"> HRテック導入 タレントマネジメント 業績管理システム ダッシュボードマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ブランディングDX ERP(統合型基幹業務システム)の導入
HR(人的資源)	<ul style="list-style-type: none"> 人材採用・育成・活躍・定着 組織デザイン 人的資本マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営 働き方改革 	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ&インクルージョン 階層別人材育成セミナー(社長から新入社員まで) 	<ul style="list-style-type: none"> アカデミー(企業内大学)の設立 ジュニアボード(次世代経営チームの育成)
ファイナンス・M&A	<ul style="list-style-type: none"> 事業承継 資本政策 企業再生 	<ul style="list-style-type: none"> M&A戦略 ホールディングス化 グループ経営システム構築 	<ul style="list-style-type: none"> 海外(クロスボーダー) M&A戦略 	
ブランド&PR	<ul style="list-style-type: none"> 業種別プロモーション ブランド構築 CXデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> クリエイティブ&商品開発 採用ブランディング 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング 	

全国主要都市10地域でのファーム(事業所)展開による地域密着

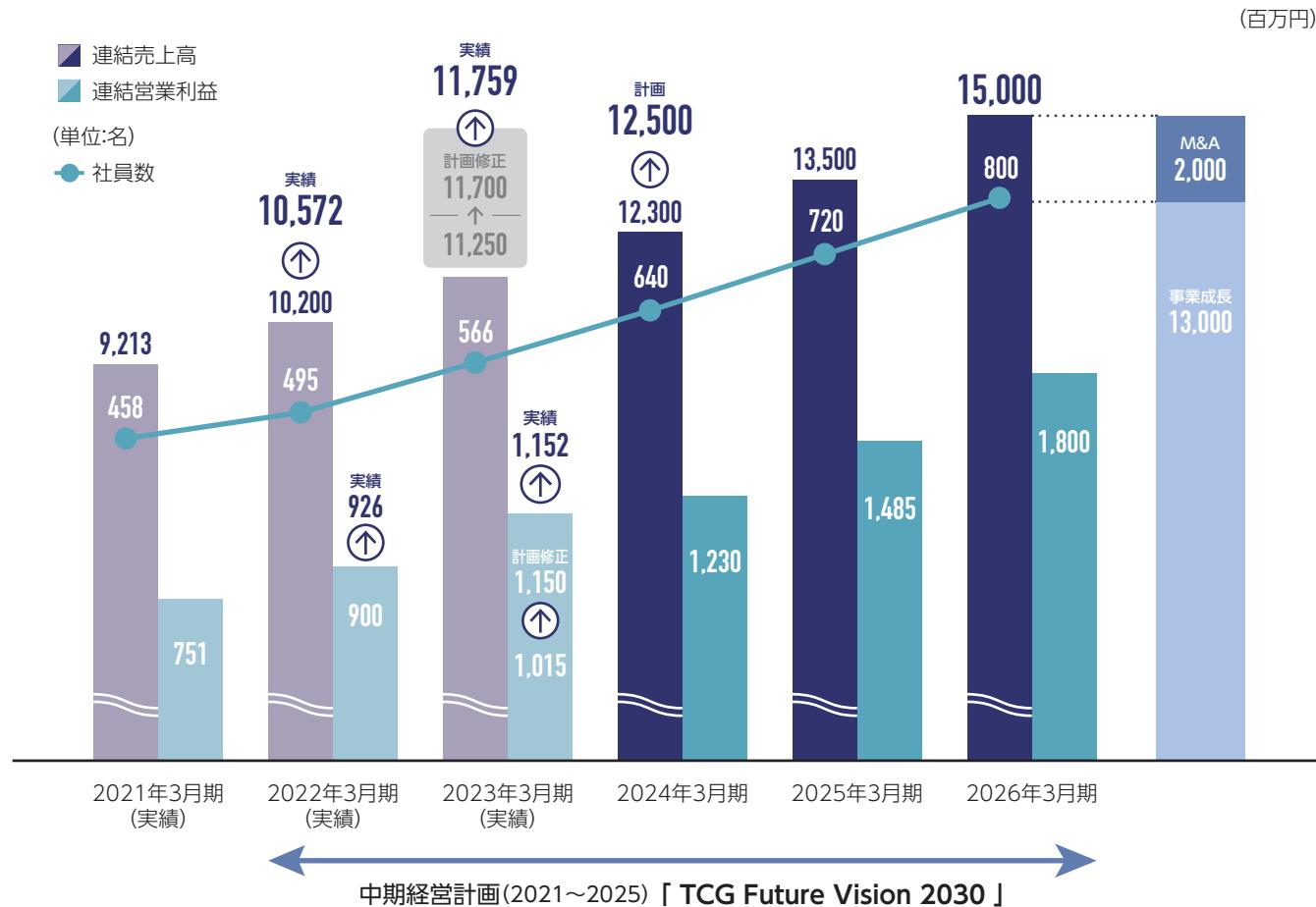


顧客企業をファーストコールカンパニーへと導く

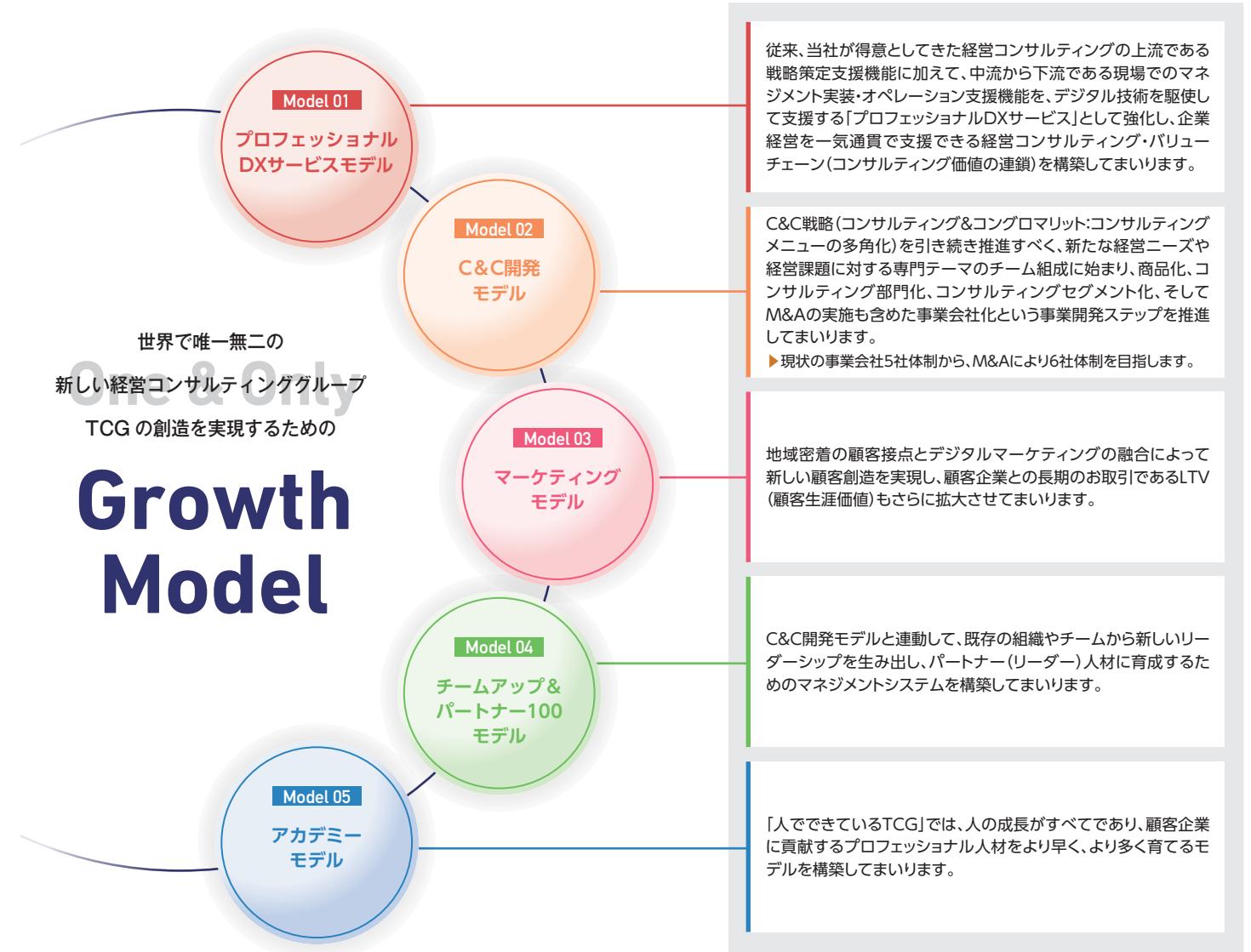


■目標数値

- 連結売上高計画150億円の内訳は、2021年3月期実績を基準として、130億円は既存事業の成長、20億円はM&A戦略の推進で実現してまいります。
- 積極的に人的資本投資を行い、グループ全体で人材採用を強化してまいります。



■TCG5つの成長モデル



個人投資家向け 会社説明会を実施

1 Kabu Berry・湘南投資勉強会主催 IRセミナー

SNSを通じて有志を募り、プライベートで株式投資の勉強や情報交換を積極的に実施されている「Kabu Berry」と「湘南投資勉強会」において、当社代表取締役社長の若松による会社説明会を実施いたしました。会場におけるご説明と同時にオンラインでの配信も行い、多くの個人投資家の皆さまにご参加いただきました。ご説明後の質問会では、非常にたくさんのご質問をいただき、当社についてのご理解を深めていただくことができたのではないかと考えております。



▲Kabu Berry 2023年8月25日(金)開催



▲湘南投資勉強会 2023年9月30日(土)開催

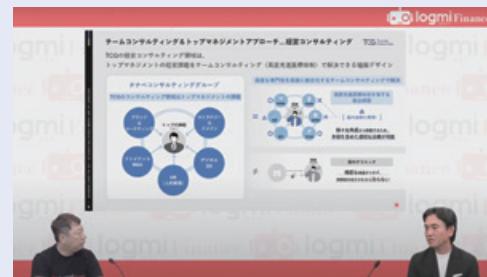
2 ログミーFinance主催 IRセミナー

2023年7月14日(金)配信のログミーFinance主催の個人投資家向けIRセミナーにおいて、会社説明会を実施いたしました。

当日は、当社代表取締役社長の若松より事業内容や業績動向、中期経営計画、株主還元等についてご説明させていただき、全国各地域の幅広い年齢層の個人投資家の皆さまにご視聴いただくことができました。今後も対話の機会を増やし、すべての株主・投資家の皆さまに満足感を持つ的確な投資判断をしていただけるよう、引き続きIR活動をアップデートしてまいります。



▲ログミーFinance公式YouTubeチャンネル



個人投資家向け テレビ番組&ラジオに出演

当社に対する認知拡大と興味・関心を持っていただくために、個人投資家の皆さまに向けた新たな試みとして当社代表取締役社長の若松がラジオNIKKEIと日経CNBCの番組に出演いたしました。事業内容や強み・中期経営計画等について、ご説明させていただきました。是非、以下のQRコードよりアーカイブ配信をご覧ください。

ラジオNIKKEI
「アサザイ スペシャル
リスナー感謝祭 2023夏」
放送日
2023年7月17日(月)9:15~10:15



ラジオNIKKEI
『マーケットプレス』~この企業に注目!
相場の福の神~
放送日
2023年8月24日(木)14:10~14:25



日経CNBC
~攻めのIR~
Market Breakthrough
放送日
2023年8月30日(水)11:40~12:10



経済産業省より「DX認定事業者」の認定を取得



2023年7月1日付で、経済産業省が定めるDX認定制度に基づき「DX認定事業者」に認定されました。

この制度は、「情報処理の促進に関する法律」において、経済産業省が定める「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業を国が認定する制度です。認定事業者は「企業がデジタルによって自らのビジネスを変革する準備ができている状態(DX-Ready)」とされ、自社をアピールしたり公的な支援措置を受けたりすることができます。

当社では、唯一無二の経営コンサルティング・バリューチェーンの実現を目指し、デジタル技術を駆使する「プロフェッショナルDXサービス戦略」を強化。また、コンサルティングテック(ICTを駆使した革新的なコンサルティングサービス)やスマートDX(ERPシステムのアップデートなど)への戦略投資といった「持続的な成長を実現するコーポレート戦略」に取り組んでおります。



WHAT'S TANABE CONSULTING GROUP

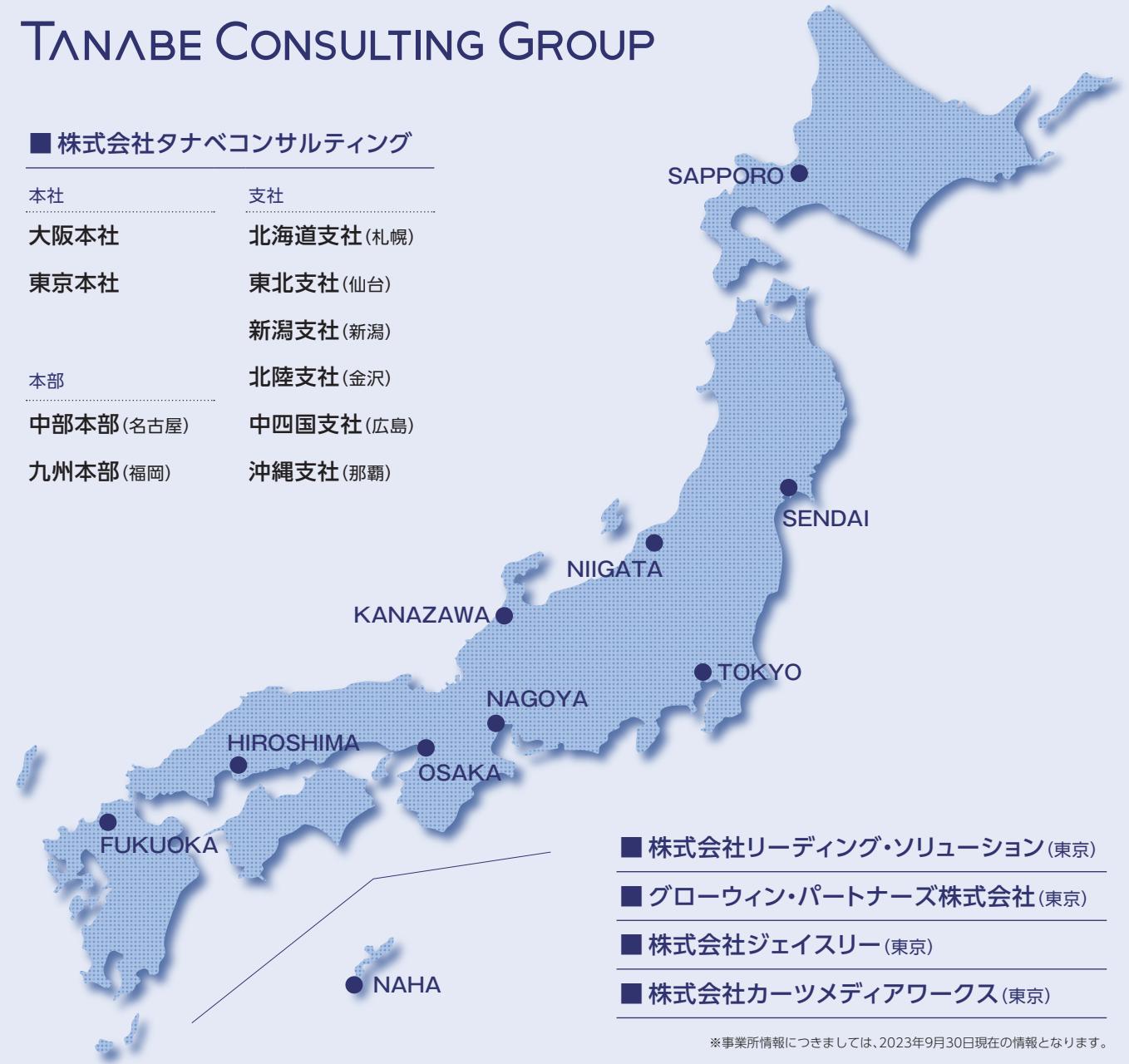
数字で見るタナベコンサルティンググループ



TANABE CONSULTING GROUP

■ 株式会社タナベコンサルティング

本社	支社
大阪本社	北海道支社(札幌)
東京本社	東北支社(仙台)
	新潟支社(新潟)
	北陸支社(金沢)
中部本部(名古屋)	中四国支社(広島)
九州本部(福岡)	沖縄支社(那覇)



- 株式会社リーディング・ソリューション(東京)
- グローウィン・パートナーズ株式会社(東京)
- 株式会社ジェイスリー(東京)
- 株式会社カーツメディアワークス(東京)

※事業所情報につきましては、2023年9月30日現在の情報となります。

会社&株式情報

(2023年10月1日現在)

商号	株式会社タナベコンサルティンググループ TANABE CONSULTING GROUP CO.,LTD.
大阪本社	大阪市淀川区宮原3-3-41
東京本社	東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング9F
ホームページ	https://www.tanabeconsulting-group.com/
創業	1957年10月16日
設立	1963年4月1日
資本金	1,772百万円
総人員数	683名(連結)
グループ会社	株式会社タナベコンサルティング 株式会社リーディング・ソリューション グローウィン・パートナーズ株式会社 株式会社ジェイスリー 株式会社カーツメディアワークス

役員 (2023年10月1日現在)

代表取締役社長	若松孝彦
取締役副社長	長尾吉邦
専務取締役	南川典人
専務取締役	藁田勝
取締役	松永匡弘
社外取締役(監査等委員)	市田龍
社外取締役(監査等委員)	神原浩
社外取締役(監査等委員)	井村牧

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	17,508,400株
1単元の株式数	100株
株主数	7,217名

大株主の状況 (上位10名) (2023年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
田邊次良	1,895 (千株)	11.3 (%)
田邊洋一郎	1,711	10.2
樋崎十紀	1,605	9.6
光通信株式会社	1,035	6.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	552	3.3
上田信一	503	3.0
タナベコンサルティンググループ社員持株会	477	2.9
タナベコンサルティンググループ取引先持株会	449	2.7
特定有価証券信託受託者株式会社S M B C信託銀行	404	2.4
木元仁志	320	1.9

(注)持株比率は自己株式(774,708株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2023年9月30日現在)

個人・その他	14,401,051株	82.3%
金融機関	1,171,400株	6.7%
事業会社・その他法人	1,577,417株	9.0%
外国法人等	358,532株	2.0%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.tanabeconsulting-group.com/ir/ ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主さま向けアンケート



株主の皆さまは大切なパートナーです

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス
②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

https://www.e-kabunushi.com

アクセスコード **9644**

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
[件名][本文]は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を
進呈させていただきます
●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。https://www.link-cc.co.jp

アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com



We are Business Doctors

since 1957



有害廃液を排出しない
「水なし印刷方式」を採用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



環境にやさしい植物油
インキ(ベジタブルインキ)
を使用しています。